

全校漢字テストへの取組例（全校一斉漢字テストタイム）

小学校

全校漢字テスト（全校一斉漢字テストタイム）の取組例

全学年で毎週水曜日に朝の活動として、「すくすく漢字」を十五分間実施し、漢字を読み書きする力の向上を目指す。

実施方法

- ・前年度に学習した漢字（例：第三学年は第二学年の漢字）のうち五十問を三週間にとわって学習する。
- ・一週目は、分からないところは答えを見ながら書く。
- ・二週目は、何も見ないで書き、答えを見て自分で採点する。
- ・三週目は、テストをする。間違いはその日のうちに直す。

（効果等）

全校一斉に継続的かつ計画的に行うので、教師による取組の差がみられない。計画的に三週間にわたって同じ問題に取り組むので、児童は目標をもって家庭でも練習を重ねることができる。練習したことが身に付いたか定期的（三週間に一回）に確認することによって、児童は自己評価をすることができる。また、教師は、児童の把握に役立てることができる。

小テストを行う新出漢字を三つ出題する。例：「縦」「疑」「探」（教科書の巻末にある「新しく習った漢字」より出題）教科書巻末の「新しく習った漢字」の表を見ながら、「縦」「疑」「探」それぞれの使い方を子どもたちと一緒に声に出して読み、読み方を確認する。

この三つの漢字を練習させる。練習の仕方は、画数、筆順、音訓の使い方で行わせ、辞書も活用するよう声かけをする。

（宿題）

小テストを実施する。テスト用紙を配り、黒板に出題漢字を大きく書く。

出題漢字を用紙の所定の位置に書かせる。（添付資料参照）子どもと一緒に空書きをして筆順を確認する。注意する点等もここで指導する。

「よついで、スタート」の合図で小テストを開始する。練習してきた漢字の使い方をどんどん書かせる。

五分後、「やめ」の合図で小テストを終了する。

隣の子と交換して、教科書や練習してきた漢字練習帳を見ながら採点させる。正解した分だけ得点になるので、子どもたちは一生懸命漢字の練習に取り組む。

「今日のMVP」を発表し、賞賛し合う。

次回の漢字三文字を出題する。